

東京大学医科学研究所倫理審査委員会臨床試験等委員会

2025年度第9回議事要旨

日時 2026年1月22日(木) 10:09~11:59

場所 遠隔会議システムを利用したウェブ会議

出席者 石井委員長、佐々(くらしとバイオ)、久具山(コーリレ)、和田(法)、池淵(医)、青木(薬)、竹内(数理)、内丸(昭和医科)、佐藤(理研)、伊藤、長村(文)、武藤、野島、黒田、リンツビヒラの各委員

※和田(法)、伊藤委員は途中退席のため、C013の課題は審査不参加。

欠席者 横山委員

陪席者 研究倫理支援室 遠矢准教授、TR・治験センター 岡田シニアURA・学術専門職員、河野薬剤師、大浦研究支援課長、研究推進チーム 佐野上席係長、村上一般職員、桑原派遣職員

議事に先立ち、本日の会議成立について、委員長より外部委員、非専門委員とも出席があり、要件を満たしている旨の確認があった。

(議事)

1. 議事要旨の確認について

前回(2025年12月18日)委員会の議事要旨(案)について、内容を確認した。審議の結果、これを承認した。

第6回(2025年10月23日)、第7回(2025年11月17日)委員会の議事要旨について修正があり、内容を確認した。審議の結果、これを承認した。

2. 臨床研究の審査

※委員会手順書Ⅲ-1(治験依頼者、治験薬提供者及び治験責任医師と密接な関係にある者)、Ⅲ-4(利益相反に該当)又はⅢ-5(研究に関係する委員)に基づき審議・採決に不参加の委員

- ・長村(文)委員:C013(研究関係者のため参加不可)
- ・野島委員:C013(研究関係者のため参加不可)
- ・武藤委員:C013(研究関係者のため参加不可)

・受付番号:C013(逸脱報告)

責任医師:感染免疫内科・特任教授・古賀道子

課題名:COVID-19に対するHIV感染者への自己増幅型m-RNAワクチン追加接種の免疫学的反応検討のための比較研究

報告日:2026年1月7日、1月8日

本件について、責任医師である古賀道子特任教授より逸脱報告の説明があった。審議の結果、1月7日分については特に問題などの指摘はなく、これを承認した。1月8日分については第1報、第2報であり、次回の委員会に第3報の報告がされることから、引き続き審議することとした。

以上